

2026 餅つき大会

恒例の餅つき大会を開催します。
当日は餅つき体験もできますので、お楽しみに。

日時 2026年 1月11日(日) 12:00～14:00
●会 場／サービスセンター前駐車場



第45回 南箱根ダイヤランド文化展

丹精込めた作品、自分なりに気に入っている作品大募集!
ジャンルは問いません。ダイヤランドの方なら誰でも出品できます。

日時 2026年 1月2日(金)～1月6日(火) 10:00～16:00

文化展 出展作品募集
申込締切/2025年12月20日(土)

- 会 場／ダイヤランドホール
- 作品搬入/2025年12月28日(日) AM10:00～12:00
- 作品搬出/2026年 1月 7日(水) AM10:00～12:00
- 主催/ダイヤランドサービスセンター
- 協力/文化展実行委員会

※サービスセンターにて申込書をお渡しします。
事前にお申込みください。

お申込み・お問合せ
サービスセンター TEL.055-974-2222
(担当/生活支援室 鈴木)



第33回 フリーマーケット

恒例のダイヤランド版蚤の市です。お誘い合わせて会場にお越しください。

日時 2025年 10月4日(土) 10:00～12:00

- 会 場／ダイヤランドホール室内
- 出店費/1区画(290cm×220cm)500円
- ※天候にかかわらず、ホールで開催します。

お申込み・お問合せ
サービスセンター TEL.055-974-2222
(担当/生活支援室 鈴木)



restaurant 森の里 からののお知らせ



テイクアウトご利用下さい

※宅配は11:30頃と16:30頃の1日2回承ります(午前中の配達は前日受付となります)
※17:00以降の配達出来ません

ご予約・内容等のお問い合わせはレストラン森の里まで ☎055-974-0211

■営業時間 11:00～21:00

ランチタイム…11:00～14:30 (オーダーストップ 14:00)

ティータイム…14:30～17:00

ディナータイム…17:00～21:00 (オーダーストップ 19:50)

※営業日ならびに営業時間は状況により変更することもあります。

12/28(月)～1/3(土)の間は混雑が予想されるため
座席の予約・宅配はできませんのでご了承ください。

枉顧

MINAMIHAKONE
DIALAND
OHKO

No. 208

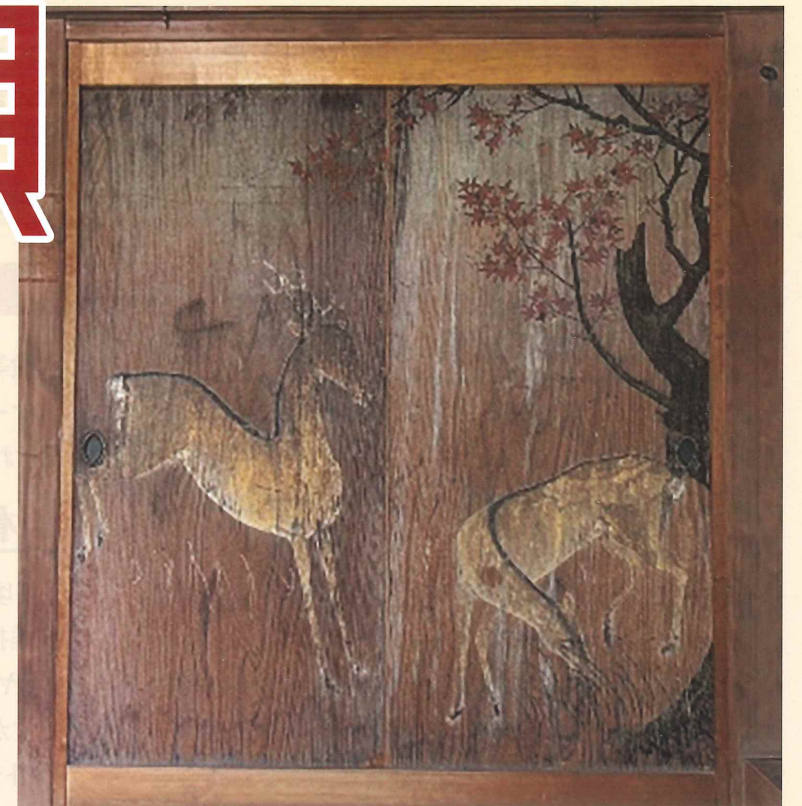
南箱根ダイヤランド会報誌

令和7年10月1日

函南町塚本にある函南遺産

興聖寺「襖絵」 のご紹介

函南町塚本に位置する興聖寺(こうしょうじ)の「ふすま絵の大ジカ」は、かつてのテレビ番組「まんが日本昔話」で「あばれ鹿」として取り上げられ、地域の文化的背景を知る上でも非常に重要な作品となっています。興聖寺を訪れることで、函南町の文化や歴史に触れ、その深い魅力を体感できる貴重な機会です。また、地元の伝統や信仰について学ぶことで、より豊かな街の魅力を楽しむことができます。



興聖寺 「襖絵」

ふすま絵の大ジカ

むかしむかし、函南の周りの村々のお百姓たちは、秋になるとどこからともなく現れて、イネやサツマイモなどの作物を荒らす、二頭の大ジカに苦しめられていた。

なかでも函南は被害が大きく、見事に実ったイネが、一晩の内に方方で荒らされた。お百姓たちはいろいろ工夫して、かかしや脅しをしかけるのだが、何のききめもなかった。なにしろ人間がしかける脅しのからくりを、よく知っているらしく、それをたくみにかわして、荒らしまわるのだった。

あまりのことに、名主やお百姓たちは頭をいため、どのようにして大ジカからの被害を防いだらよいかと、相談をした。年貢を納めるためには、少しでも多く米をとらないと、生活ができない。シカに荒らされたことなど言い訳にはならない世の中だった。

相談の結果、村の猟師に頼んで、二頭のシカを退治してもらうことになった。

名主や土地のお百姓から、大ジカの退治を頼まれた猟師の勘七たちは、ある秋の日、鉄砲を持って狩野川べりの畑に隠れていた。

ようやく午後の太陽は、日守の山の端にかたむき、日が暮れてきた。狩野川を渡ってくる風は、秋というものはだ寒く、うす着の勘七たちは身ぶるいするほどだった。玄岳の上に月がのぼる頃になると、とっぴり日が暮れて村の明かりがあちことにちらばって見えた。勘七たちは長い時間、じっと息を殺してシカの現れるのを待っていた。よく実ったイネの穂をならして、吹く風の音が時々、勘七たちの気持ちを引きしめた。

やがて、人氣もすっかりとだえ、家々の明かりも消えて、夜も次第にふけてきた。すると、あぜ道をゆっくり歩いてくる二頭の大ジカのかげが、勘七たちの目にも映った。二頭のシカは、よく実ったイネを選ん

で、手当たり次第に食い始めた。じっと見守っている勘七たちの方に、シカは近づいて来る。とうとうシカは、十五メートルほど先に姿を現した。勘七たちは鉄砲でねらいを定めると、二頭の大ジカめがけて引き金を引いた。「パンパン、パン!」

あたりの静けさを破って鉄砲は鳴り、確かに手ごたえはあったが、どうしたわけかシカは倒れた様子もなく、どこかへ逃げ去ってしまった。

あくる朝、夜の明けけるのを待って、勘七たちは、二頭のシカの足跡をたよりに、探し始めた。あぜ道から続く足跡は、はっきり残っていて、村の中に入っている。さらに、足跡を追っていくと、やがて興聖寺の境内で、ぷつぷつと消えていた。

名主やお百姓たちに頼まれた仕事でもあるし、猟師としての名誉にも関わると、勘七たちは真剣だった。寺のまわりを探していると、近くの老人が、ゆうべ小便に起きて庭に出ると、たしかにシカらしいものが山門に入っていたと言うのだった。いわれるとおり山門までで足あとが残っているのだが、その先がいかにもわからない。

「へんだなあ、これはいったいどういうことだ。」とふしぎに思い、まだねていた寺の住職を起こして、本堂の中を調べさせてもらうことにした。住職は、「シカが本堂ににげこむわけがあるものかね、日守の山



「まんが日本昔話」より画像引用

へでもにげたらうよ。」といって、本気でとりあおうとしなかった。それでも勘七たちは、本堂に上がってすみずみまで調べたが、大ジカのすがたはどこにも見当たらなかった。しかたなく、あきらめて本堂から出ようとしたとき、勘七は、はっとして身がまえ、「いた、いた。大ジカがいた!」とさげんだ。連れの者も勘七の声におどろき、指さす方に目を向けると二頭の大ジカがいたのだが、それはよく見ると、寺のふすまにえがかれたシカの絵だった。勘七は、「なんだ、絵に描いた大ジカか!」と、力を落としたが、それにしてもふすまからぬけだしそうに、見事にえがかれたものだった。そして、ふしぎにもシカの絵には

管理課より

雨漏りは早期発見が重要です

例年台風シーズンを迎えると雨漏りの相談がサービスセンターに多く寄せられています。

雨漏りは早期発見が重要となりますので早めの対策をお勧めいたします。

ご自身で簡単にできる確認として、ベランダ及び雨樋にゴミが溜まって(草が生えていないか)いないか。外壁にひび割れ、剥がれ、浮きはないか、外壁及びサッシ周りのコーキングにひび割れ、剥がれがないか等となります。

雨漏り等の修繕に関しては弊社管理課までお問合せ下さいますようお願い申し上げます。

屋外用照明について

これから冬にかけて日照時間が短くなっていきます。事故防止や防犯のためにも屋外用照明器具の設置や

鉄砲のたまが当たっていたのだった。

こんなことがあってから、村人の前にシカは姿を現さなくなった。これまでは、興聖寺のふすまのシカが夜になると、こっそりぬけだして、田畑を荒らしていたのだった。

さすがの大ジカも、鉄砲でうたれてはたまらないと、おとなしくふすまにおさまっているにちがいない。

『読みがたり 静岡のむかし話』 静岡県むかし話研究会 編 抜粋

興聖寺	〒419-0124 静岡県田方郡函南町塚本431
-----	--------------------------

点検等が必要です。

サービスセンターにて対応致しますので、ご連絡いただければ幸いです。

庭木の手入れについて

日頃より敷地内樹木のお手入れ草刈りの実施等、環境維持にご協力いただきありがとうございます。

ダイヤモンドでは境界際に植込みされている場合がありますが、手入れを怠ることで近隣の方とのトラブルに発展することもあります。

サービスセンターには庭園整備用の無料レンタル道具もごございますので是非ご利用ください。



冬季工事休止期間
2025年12月27日(土)～2026年1月4日(日)

環境整備課より

野焼きは禁止されています



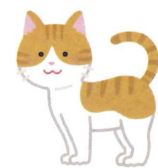
農林業者が作業に伴って行う燃焼行為(ゴミ、合成樹脂又は油を含まないものに限り。)や防災訓練での燃焼行為、「どんと焼き」などは対象外になります。(静岡県公式HPより)

焼却設備を使用しない廃棄物の焼却は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および静岡県の条例(※静岡県生活環境の保全等に関する条例)により野焼きは禁止されています。ダイヤモンド内でも野焼きによる火事が発生しております。大きく広がる前に消止められたため規模が小さく済みましたが、思わぬ火の広がり大きな火事となることがありますので、絶対に行わないでください。

飼い主のいない猫(野良猫)の餌やりについて

飼い主のいない猫(不妊去勢手術をしていない野良猫)へのむやみな餌やりは控えて下さい。「かわいそうだから…」「かわいくてつい…」と餌やりをすると、猫が増えます。(1頭あたり年間で20頭以上の子猫を産むこともあります)無責任な餌やりは不幸な猫を増やす原因となり、住民にも糞尿などで迷惑をかける原因となります。

猫も人間も安心して暮らせるよう、地域ねこ活動のチラシをサービスセンター内へ設置・X(旧Twitter)に掲載しています。ご確認をお願いいたします。



階段整備

着前



完了



倒木処理

作業前



作業後



新山看板周り

作業中



完了



写真だより

ダイヤモンドプール

2025年7月27日(日)～8月24日(日)



今年はニュースで「40度超え」「記録的な暑さ」といった言葉を連日耳にしましたが、天候が不安定な日も多く、十分にお楽しみいただけなかった方もいらっしゃるかもしれません。初めてご利用いただいた方には、「こんなところにプールが」と驚きの声がございました。プールを外部から見ることができませんので、そんなお声があったのかもしれません。来季も是非、ダイヤモンドプールをご利用ください。

うちわ展

2025年8月1日(金)～8月31日(日)
レストラン森の里エントランスホール



今年もこの時季恒例のうちわ展を開催いたしました。毎年ご参加いただいております、芽ぶき介護センターの皆様今年の作品は、鮮やかな染め紙を背景に思い思いのメッセージを書き入れられました。小さなおうちわが添えられていて、なんとも可愛い工夫された作品でした。作品一点一点に物語を感じられるうちわ展は、毎年楽しみな作品展です。

2025ダイヤモンド夏祭り 2025年8月12日(火) センター前特設会場他



今年は開催間際まで天候に悩まされましたが、無事に開催することができました。初めてご出演いただきましたのは、街頭紙芝居芸人の「三ツ沢グッチ」さん。独特な世界観に引き込まれました。スイングジャズの「Riki Band」の皆さんのサウンドは迫力のあるものでした。どこか懐かしいメロディーに酔いしれました。またSub-stageでは、津軽三味線・太鼓演奏の「登米会」の皆さん。被災地復興事業として活動されています。津軽三味線の力強い音色がダイヤモンドに響き渡りました。